

## 施策体系シート(行政経営Bシート)

作成者	組織	国際観光課	職	観光戦略推進部長兼課長	氏名	鈴木 義博
評価者	組織	国際観光課	職	観光戦略推進部長兼課長	氏名	良澤 和俊

施策	施策の目標	成果指標	単位	目標値 (年度)	現状値		評価
					(年度)	(年度)	
施策1	3大都市圏誘客1000万人構想の推進と 海外誘客10倍増構想の推進	外国人宿泊客数	人	500,000 (H27)	293,956 (H26)	363,399 (H27)	B

施策の目標達成に向けて重点的に取り組むべき課題							課題に対する主な取り組み				評価	
施策	課題	成果指標	単位	目標値 (年度)	現状値		事務事業	対象	予算 (千円)	決算 (千円)	事業の 有効性	今後の 方向性
					(年度)	(年度)						
施策1	課題1 新はっと石川観光プランの推進 (海外誘客10倍増構想の推進)	外国人宿泊客数	人	500,000 (H27)	293,956 (H26)	363,399 (H27)	1: 海外誘客情報発信事業費	外国人観光客	98,640	119,737	A	拡大
							2: 海外誘客受地整備費	外国人観光客	9,000	21,844	B	継続

※人数については暦年の数値である

# 事務事業シート(行政経営Cシート)

<b>事務事業名</b>	海外誘客情報発信事業費	<b>事業開始年度</b>	H24	<b>事業終了予定年度</b>		<b>作 組 織</b>	国際観光課
		<b>根拠法令 ・計画等</b>	新ほっと石川観光プラン	<b>成 職・氏名</b>	専門員 橋本 康朝	<b>者 電話番号</b>	076 - 225 - 1124 内線 3969

**1 目 的**  
海外からの誘客で最も重要な認知度向上を図るため、海外における旅行イベントへの出展、メディアへの露出、現地旅行会社への商品造成支援や観光セミナーの開催など、各種観光プロモーション活動を実施する。北陸新幹線を活用した新たなゴールデンルートの定着を図る。

**2 事業内容**

(1) 北陸新幹線開業による新たなゴールデンルートづくり

① (新) 北陸新幹線を活用した誘客促進

- ・多種多様なニーズに応じた広域モデルコースの作成
- ・北陸新幹線を活用した旅行商品造成支援
- ・オーストラリアからの冬季誘客促進 (長野県連携)

② 沿線自治体等連携による海外に向けた情報発信

- ・国際旅行博への出展 (欧州、東南アジア)
- ・(新) メディア招へいの実施 (欧米豪、東南アジア)

③ 交通事業者等との連携による広域周遊観光の推進

- ・(新) 関西・北陸エリアパスを活用した観光PR (関西圏)
- ・昇龍道を活用した観光PR (中京圏)

(2) 東南アジアからの誘客強化

① 本県の認知度向上に向けた情報発信等

- ・石川県シンガポール事務所、福井県バンコク事務所と連携した現地イベントの出展 ( (新) インドネシア、シンガポール、タイ)
- ・(新) マレーシアの現地旅行番組での観光魅力の紹介
- ・(新) インドネシア語パンフレット、ホームページ作成

② 報奨旅行の誘致促進

- ・シンガポール、タイからの企業担当者の招へい

(3) 小松空港定期便等を活用した誘客活動の展開

- ・(新) 武漢 (中国内陸部、上海経由) からの誘客
- ・旅行会社招へい
- ・広告支援 (台湾、韓国、中国)
- ・スポーツ・レジャーツアーの誘致 (台湾、韓国)
- ・教育旅行の誘致 (台湾、中国) など

施策・課題の状況							
<b>施策</b>	3大都市圏誘客1000万人構想の推進と海外誘客10倍増構想の推進					<b>評価</b>	B
<b>課題</b>	新ほっと石川観光プランの推進						
<b>指標</b>	石川県内外国人宿泊者数					<b>単位</b>	人
<b>目標値</b>	現状値						
平成27年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
500,000	106,933	162,161	242,292	293,956	363,399		
事業費							
(単位:千円)	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
<b>事業費</b>	予算	65,540	52,940	57,940	98,640		
	決算	65,540	56,540	64,940	119,737		
<b>一般財源</b>	予算	65,540	52,940	57,940	14,840		
	決算	65,540	56,540	64,940	43,192		
<b>事業費累計</b>	65,540	122,080	187,020	306,757			
評価							
<b>項目</b>	<b>評価</b>	<b>左記の評価の理由</b>					
事業の有効性  (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	A	<p>北陸新幹線開業に合わせ、沿線自治体や交通事業者との連携を進め、広域周遊観光の推進に取り組んだほか、今後さらなる誘客の拡大が期待できる東南アジアや欧米豪を重点にそれぞれの国・地域の特性に応じた効果的な取り組みを行ってきた。</p> <p>その結果、県内の外国人宿泊者数については、台湾や韓国において前年より若干減ったものの、中国は前年比63%増の30,092人、香港は前年比35%増の27,966人、欧米豪は前年比60%増の100,065人、東南アジアは前年比32%増の26,767人となるなどいずれも過去最多の宿泊者数を記録した。</p>					
今後の方向性  (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	拡大	<p>人口減少時代を迎え、国内観光のパイが限られている中、交流人口の拡大を図るには、年々拡大する海外からの観光客の誘客に目を向けていくことが重要であり、今後も引き続き、国や近県、県内市町及び民間事業者とも連携を深めながら、重点市場からの誘客に取り組む必要がある。</p> <p>今後は、東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催、更にもその後を見据えた本県の認知度の向上にと務めるとともに、引き続き北陸新幹線や小松・のと里山空港などの充実した交通インフラを活用し、広域連携による周遊観光の促進に取り組む。</p>					

# 事務事業シート(行政経営Cシート)

<b>事務事業名</b>	海外誘客受地整備事業費	<b>事業開始年度</b>	H24	<b>事業終了予定年度</b>		<b>作 組 織</b>	国際観光課
		<b>根拠法令 ・計画等</b>	新ほっと石川観光プラン	<b>成 職・氏名</b>	専門員 橋本 康朝	<b>者 電話番号</b>	076 - 225 - 1124 内線 3969

**1 目 的**  
 外国人観光客が、快適な県内観光を楽しめるよう、観光案内ガイドの人材育成を図るとともに、多言語による情報発信ツール（ホームページ、パンフレット、地図等）を整備するなど、外国人旅行者の利便性及び満足度の向上を図る。また、観光事業者、有識者とも連携しながら、情報の収集・分析にあたるとともに、県内事業者に対して受け入れに関する意識啓発並びに必要な支援を実施する。

**2 事業内容**  
 (1) 観光事業者への意識啓発  
 ・インバウンド研究会  
 ・飲食店・商業施設等を対象としたセミナー開催  
 ・外国語ガイドの育成  
 (2) (新) 外国人旅行者受入環境整備に対する支援  
 ・外国語表記、コミュニケーションツールの作成、公衆無線LAN整備等に対する支援

施策・課題の状況							
<b>施策</b>	3大都市圏誘客1000万人構想の推進と海外誘客10倍増構想の推進					<b>評価</b>	B
<b>課題</b>	新ほっと石川観光プランの推進						
<b>指標</b>	石川県内外国人宿泊者数					<b>単位</b>	人
<b>目標値</b>	現状値						
	平成27年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	500,000	106,933	162,161	242,292	293,956	363,399	
<b>事業費</b>							
	(単位:千円)	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
<b>事業費</b>	予算		2,000	6,220	5,100	9,000	
	決算		2,000	6,220	5,690	21,844	
<b>一般財源</b>	予算		2,000	6,220	5,100	5,000	
	決算		2,000	6,220	5,690	4,924	
<b>事業費累計</b>			2,000	8,220	13,910	35,754	
評価							
<b>項目</b>	<b>評価</b>	<b>左記の評価の理由</b>					
事業の有効性  (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	B	昨年9月に外国人旅行者に対して受入に関するアンケートを実施したところ、公衆無線LAN環境の充実や、飲食店における外国語での意思疎通に困ったとの意見が寄せられた。 また、最近の外国人旅行者は個人、あるいは少数での旅行が増加傾向にあることから、ひとりでも安心して旅行が楽しめるような受入環境の向上が必要である。 このような中、飲食店・商店街等を対象したセミナーでは多言語メニュー作成支援システムによる店と利用する外国人旅行者双方の利便性向上のためのツールの周知を図ったほか、免税店等の情報や二次交通の利用方法等を紹介した情報誌を作成し、宿泊施設や観光施設への外国語表記や公衆無線LANの導入等を進めるなどニーズに合わせた対応が着実な外国人旅行者の増加につながった。					
今後の方向性  (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続	年々増加する外国人観光客に快適に県内での観光を楽しんでもらえるよう、多様化する外国人のニーズを把握し、引き続き様々な課題に対応すべく、外国人観光客の受入体制の整備を図る必要がある。 特に北陸新幹線金沢開業により、個人旅行者の増加が見込まれることから、引き続き県内事業者に対する意識啓発や、快適な観光のための情報発信等、受入体制の充実に取り組む。					